

# 新潟本社行動計画の取り組み状況について

2023年度 第1四半期進捗報告



2023年7月28日

東京電力ホールディングス株式会社  
新潟本社

1. 安全性向上の取り組み
2. 新潟本社運営体制の構築の取り組み **update**
3. 防災支援の取り組み
  - ①緊急時の初動体制
  - ②新潟県原子力防災訓練への協力
4. 産業活性化の取り組み **update**
5. 地域貢献の取り組み
  - ①長岡技術科学大学との共同研究
  - ②地域行事への参加 **update**
6. 傾聴と対話の取り組み
  - ①コミュニケーションブース **update**
  - ②県民の皆さまへの説明会
  - ③発電所視察対応 **update**

## 2. 新潟本社運営体制の構築の取り組み (2/2)

### <新潟県知事の掲げる「3つの検証」へのご協力>

- 新潟県の皆さまの安全・安心のためにも、新潟県が進めている検証作業は重要なことであると考えており、ご協力をさせていただきます
  - 技術委員会 《福島第一原子力発電所の事故原因》
    - ・ 2012年より行われている福島第一原子力発電所の事故原因の検証について、ご協力させていただいております。（2020年10月26日、技術委員会が知事へ検証報告書提出）※
  - 避難委員会 《安全な避難方法》
    - ・ 2017年より行われている原子力災害時の避難方法に関する検証について、ご協力させていただいております。（2022年9月21日、避難委員会が知事へ検証報告書提出）

※とりまとめられた内容に関しては、技術委員会 《柏崎刈羽原発の安全対策の確認》 に反映

新潟県技術委員会（開催日：6月2日）において、「柏崎刈羽原子力発電所の安全対策の確認事項22項目のうち、当社が説明する19項目」、「柏崎刈羽原子力発電所6号機大物搬入建屋杭の損傷に関する追加調査の結果」、「3号機高経年化技術評価書に関する事項」および「7号機循環水配管の欠損」についての追加質問（水素解析、地質構造、杭損傷、循環水配管欠損関連）への回答を実施。また、「柏崎刈羽原子力発電所に対する追加検査結果を踏まえた対応状況」および「柏崎刈羽原子力発電所6号機に関する書類の紛失」についてご説明させていただいております。

# 4. 産業活性化の取り組み (1/2) ～「東京電力柏崎レジリエンスセンター」概要～

- 近年激甚化する災害への備えや対応力向上のため、首都圏と同時被災リスクの少ない日本海側の柏崎市に、**事業継続に必要となるバックアップ用事務センター**、**災害備蓄品・復旧に必要な資機材等を保管する防災用備蓄倉庫**、**防災機能が整備された広場**等を建設する
- 平常時には防災教育・避難所設営訓練などの場の活用や、各種イベントを通して地域の「防災力向上」「安心・安全な暮らし」「賑わい創出」に貢献していく  
※これらの建築計画については、2023年4月19日にプレスリリース済み

**防災用備蓄倉庫**  
物資供給や集積の拠点

▲1階災害用備蓄倉庫利用イメージ  
▲2階会議室利用イメージ

**バックアップ用事務センター**  
関東で一般災害が発生した際、事業継続のために必要な事務処理等を行う拠点

**駐車スペース**  
非常時は車中泊エリアとして地域の方々へ開放

**緑地エリアの設計・デザインは新潟工科大学と協働検討**

**EVステーション・PV・防災車両基地**  
環境(CN)貢献

▲EVステーション ▲PV屋根付きカーポート

**緑地エリア** 非常時は防災公園として、地域の方々へ開放

▲マンホールトイレ ▲防災井戸 ▲かまどベンチ

- 建設を計画する場所等
- ・ 柏崎市田尻工業団地内
- ・ 面積：約29,000㎡
- 予定工期
- ・ 着工：2024/07
- ・ 竣工：2026/03

## 4. 産業活性化の取り組み (2/2) ～「EPオペレーションセンター」の開設～

### 【開設の経緯】

- 事業継続計画（BCP）の観点を踏まえ、お客様へのサービス提供に関わる拠点について全国大で配置・構築を進めるため
- 新潟・長岡カスタマーセンターの運営実績があり、有為な人材の確保が見込まれるため  
※これらの計画については、2023年6月26日にプレスリリース済み

- 事業所名称：東京電力エナジーパートナー株式会社「新潟オペレーションセンター」
- 所在地：新潟県新潟市中央区東大通2丁目4-10 「日本生命新潟ビル」
- 開設年月日：2023年10月初旬（予定）
- 事業所運営：TOPPANエッジ株式会社
- 従業員数：約40名（地元在住者を中心に採用募集中）
- 業務内容：料金請求にかかわる情報登録

【日本生命新潟ビルイメージ】



【東大通りに面した絶好のロケーション】



### 【採用に関するお問い合わせ先】

TOPPANエッジ株式会社  
電話：0120-01-0093  
(新潟採用担当)

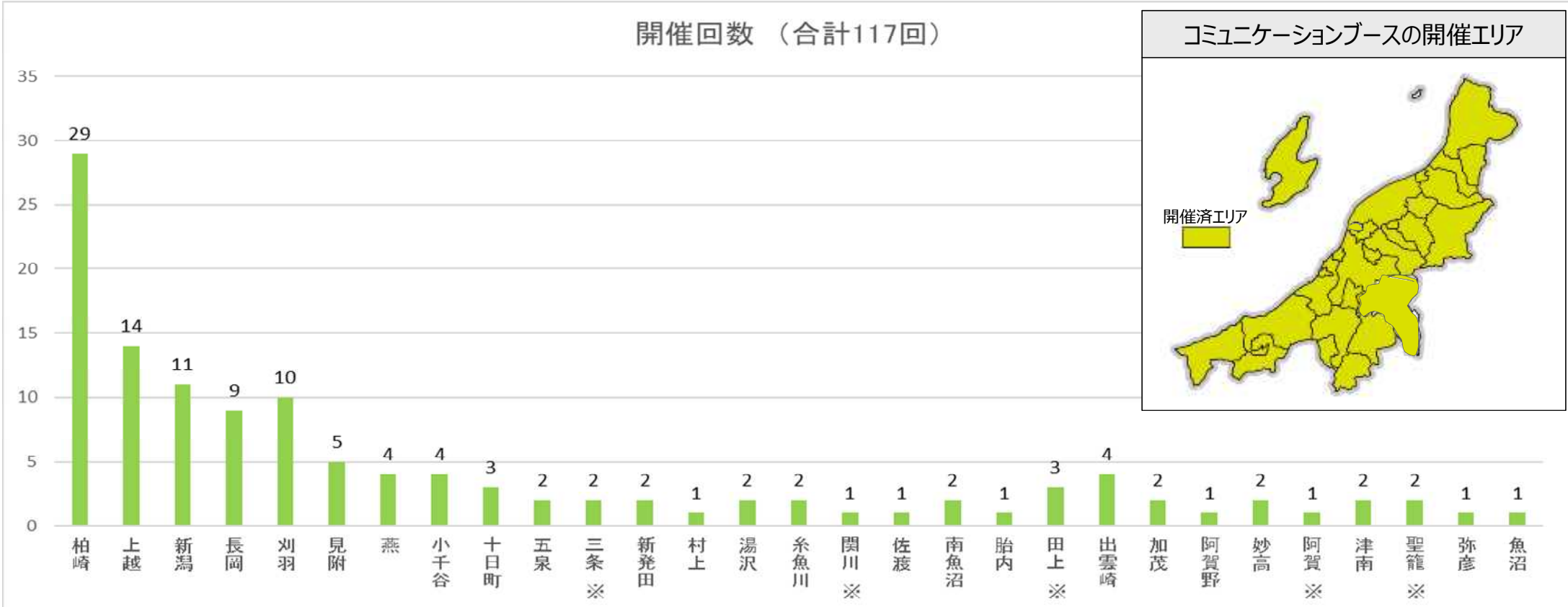
## 5. 地域貢献の取り組み ②地域行事への参加

## ＜参加実績＞

地域行事	実施日	作業内容	参加者数
公益財団法人かしわざき振興財団主催 西山さくらまつり	4/9	場内整理、ゴミ回収、景品配布	12名
燕さくらマラソン大会	4/15	フィニッシュテープ、ゴール後の計測用 チップの返却ご案内、ドリンク配布	7名
見附刈谷田川ハーフマラソン大会	4/16	記録証発行、スタート招集・誘導、 駐車場誘導、定位観察員	10名
信濃川河岸段丘ウォーク	4/29	観察誘導・先導車・後送車	8名
湯沢学園環境整備ボランティア	5/16	学園内の花壇の整備	3名
柏崎潮風マラソン実行委員会主催 柏崎潮風マラソン大会	5/21	定位観察員、コース誘導、 ドリンク配布	46名
刈羽村生涯学習センター「ラピカ」主催 ラピカ クロスカントリーフェスティバル	6/11	走路員	13名
十日町市 池谷・入山集落「棚田みらい応援団」 田んぼでの草取りボランティア	6/17	農薬・化学肥料を使用していない 箇所での草取り作業	4名
柏崎市主催 柏崎市えんま市	6/17	清掃活動	41名

# 6. 傾聴と対話の取り組み ① コミュニケーションブース (1/2)

- 新潟県内において「東京電力コミュニケーションブース」を設置し、県内の皆さまからの疑問やご意見など、さまざまな「声」をお聴きしています。
- 柏崎刈羽原子力発電所における一連の不適切事案を踏まえた原子力改革として「本社機能の一部移転」、「外部専門家の登用」、「核物質防護事案への対応」を進めており、これらの取り組みを直接地域の皆さまにご説明するとともに、ご意見を拝聴いたしました。  
いただいた貴重なご意見につきましては、今後の発電所運営に活かしてまいります。



※ 2つの市町村にお住まいの方を対象として開催し「声」をお聴きしているブースがあるため、開催回数とグラフの合計値は異なります。

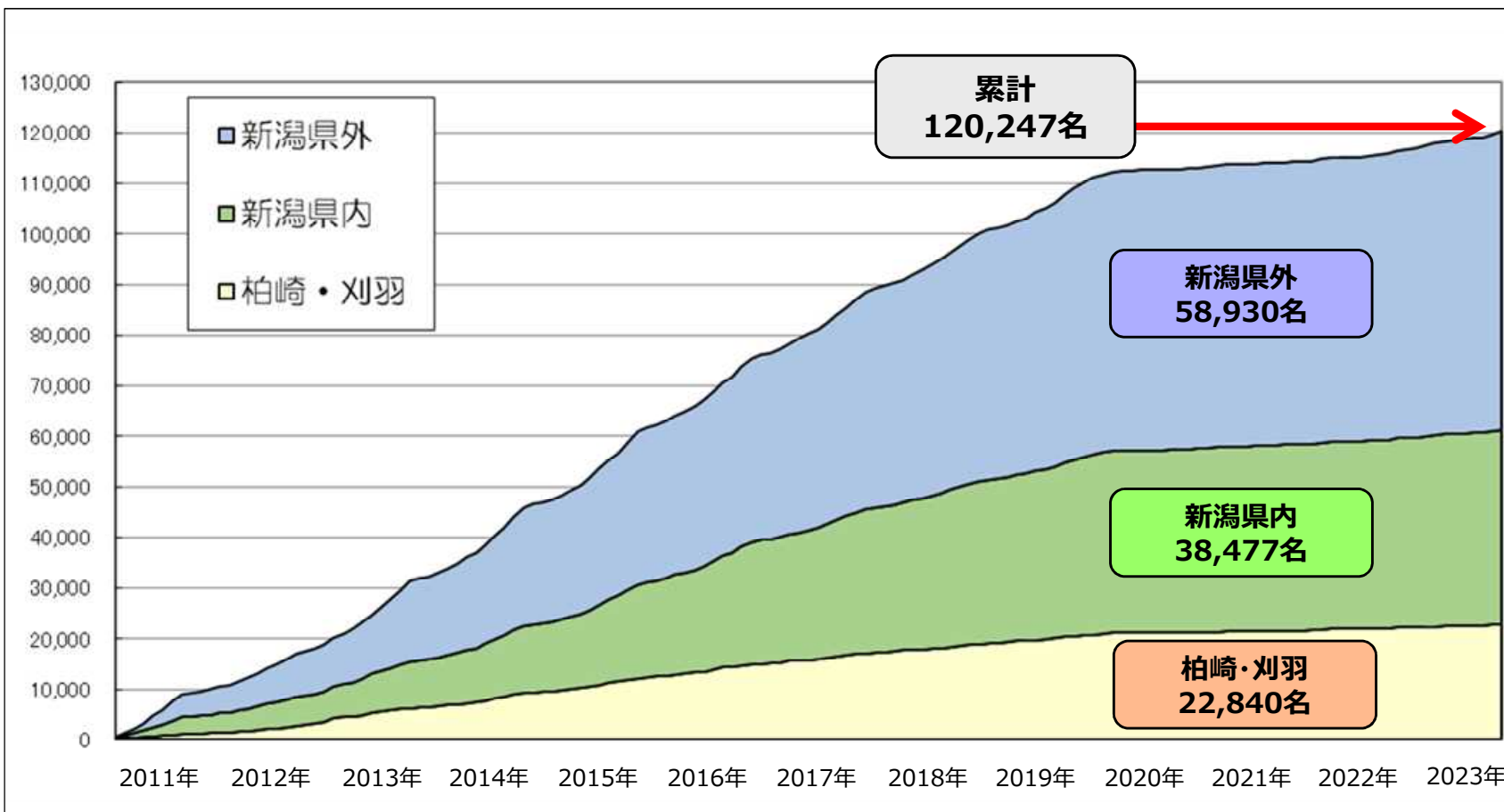
(2023年 6月30日 現在)

## 6. 傾聴と対話の取り組み ③ 発電所視察対応

- 福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、新潟県内をはじめ多くの皆さまに、柏崎刈羽原子力発電所の安全対策等の取り組みをご視察いただいております。(2011年以降の視察実績は累計で約12万人)

【発電所視察者数】

(2023年6月30日現在)



防潮堤(5~7号機側)



貯水池

